

授業科目名： 肢体不自由の心理・生理・病理	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 徳永 亜希雄・宮本 信也 担当形態： オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	徳永：特別支援学校（養護学校）教諭，特別支援学校校長経験有		
科 目	特別支援教育領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目（中心領域：肢）		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 肢体不自由のある幼児児童生徒にかかわる上で必要となる起因疾患に関する心理・生理・病理についての特徴とそれらの相互作用に関する知識、及び感覚機能の発達、知能の発達、認知の特性を理解する。併せて、家庭や医療機関等との連携についても理解し、それらに基づいて教育的かかわりに必要な技能及び態度を身につけ、実践を観察する上でその意図や背景を理解する。到達目標は、①肢体不自由の起因疾患となる病理面と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用、②肢体不自由の状態や感覚機能の発達、知能の発達及び認知の特性、③家庭や医療機関との連携の重要性、についてそれぞれ理解し、説明できるようになることである。			
授業の概要 肢体不自由児への教育実践のためには、肢体不自由児・者の心理・生理・病理の特徴について理解しておく必要がある。そのため、まず医学や学校教育の観点から肢体不自由の定義について学修する。次に、運動機能や神経系、骨・筋の仕組み、運動機能や感覚機能、知能の発達及び認知特性について学修する。最後に、それらの理解の上で、肢体不自由児の心理について学修を深め、家庭や医療機関との連携についても学修を深める。			
授業計画 第1回：肢体不自由とは①—学校教育の観点からの理解—（担当：徳永） 第2回：肢体不自由とは②—医学的な観点からの理解—（担当：宮本） 第3回：肢体不自由児の生理・病理①—運動機能と神経系の仕組み—（担当：宮本） 第4回：肢体不自由児の生理・病理②—骨・筋の仕組みと運動機能・感覚機能の発達—（担当：宮本） 第5回：肢体不自由の主な起因疾患の特徴と配慮事項①—脳原性の疾患—（担当：宮本） 第6回：肢体不自由の主な起因疾患の特徴と配慮事項②—筋原性の疾患—（担当：宮本） 第7回：肢体不自由の主な起因疾患の特徴と配慮事項③—脊椎脊髄性、末梢神経の疾患—（担当：宮本） 第8回：肢体不自由の主な起因疾患の特徴と配慮事項④—骨系統の疾患—（担当：宮本） 第9回：肢体不自由児の心理①—発達の全体的理解—（担当：徳永） 第10回：肢体不自由児の心理②—認知・思考の発達と特性—（担当：徳永） 第11回：肢体不自由児の心理③—肢体不自由が発達に与える影響—（担当：徳永） 第12回：肢体不自由児の心理④—知覚及び知能の発達と特性—（担当：徳永） 第13回：肢体不自由児の心理⑤—行動特性とパーソナリティー—（担当：徳永） 第14回：肢体不自由児・者の心理⑥—障害受容と肢体不自由児・者への態度—（担当：徳永） 第15回：肢体不自由児を支える家庭や医療機関との連携（担当：徳永）			
スクーリングでの学修			
テキスト 杉野学・長沼俊夫・徳永亜希雄 編著『特別支援教育の基礎』（※第2版推奨）大学図書出版 2023年 ISBNコード 9784907166892 川間健之介・長沼俊夫 編著 『新訂 肢体不自由児の教育』放送大学教育振興会 2022年 ISBNコード 9784595321719			
参考書・参考資料等 特別支援学校教育要領・学習指導要領及びその解説（最新版）			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			